

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	いきいきクラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、心と身体の健康づくりを推進する。		主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへ補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施				
	位置づけ	関連計画			刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画				
			根拠法令						
		対象者	クラブ会員および60歳以上の高齢者	事業期間	昭和56年度～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園 簡易健康度評価 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園 簡易健康度評価 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 中止 グラウンド・ゴルフ大会 中止 おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園 中止 簡易健康度評価 中止 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（54クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園 簡易健康度評価 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び各単位クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。 高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 単位クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、会員増を図る必要がある。 参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。 							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		いきいきクラブ加入者数（人）		7,253	6,972	6,741	7,078	—	
活動指標		いきいきクラブ加入率（%）		19.7	18.7	17.9	20.0	—	
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> 近隣市においても、委託ではなく老人クラブ連合会の事業として補助する形で、同じような内容の事業を実施している。 							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,513	7,278	6,075	7,731	合計 6,074,936 円		
	財源	特定財源	1,891	1,846	1,583	1,755	負担金、補助及び交付金 6,074,936 円		
		一般財源	5,622	5,432	4,492	5,976			
	職員人件費 ②		3,703	6,007	3,584	3,315			
	総事業費（①+②）		11,216	13,285	9,659	11,046			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		県支出金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			高年齢者の生きがいと健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができるいきいきクラブの役割は重要であり、必要度は高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位クラブの活動の活性化を図ることができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	各単位クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となってはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	いきいきクラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
いきいきクラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法としていきいきクラブ活動には大きな期待が寄せられているため、いきいきクラブ連合会及び単位クラブにおいて、会員の増加を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名							担当部	福祉健康部	
一般会計			高齢者日常生活支援事業				担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。			主たる内容	○緊急通報システムの設置 ○声の訪問の実施 ○福祉電話の設置 ○日常生活用具の給付 ○家具転倒防止器具の取付 ○布団乾燥等の実施 ○友愛訪問の実施			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱、刈谷市福祉電話事業実施要綱 他							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和60年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・緊急通報システム 558人 ・声の訪問 54人 ・福祉電話 24人 ・日常生活用具 6人 ・家具転倒防止器具 8世帯 ・布団乾燥等 144人 ・友愛訪問 6人		・緊急通報システム 534人 ・声の訪問 54人 ・福祉電話 19人 ・日常生活用具 5人 ・家具転倒防止器具 4世帯 ・布団乾燥等 121人 ・友愛訪問 6人		・緊急通報システム 544人 ・声の訪問 39人 ・福祉電話 11人 ・日常生活用具 5人 ・家具転倒防止器具 2世帯 ・布団乾燥等 108人 ・友愛訪問 8人		・緊急通報システム 590人 ・声の訪問 50人 ・福祉電話 18人 ・日常生活用具 36人 ・家具転倒防止器具 7世帯 ・布団乾燥等 155人 ・友愛訪問 30人	
		成果	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。						
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。							
O 実施		指標名称（単位）				実績値		目標値	
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
	活動指標	緊急通報システム利用者数（人）			558	534	544	590	600
活動指標	布団乾燥等利用者数（人）			144	121	108	155	160	
C 事業コスト	他市との比較検証								
	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		18,519	18,406	18,173	23,028	合計 18,173,237 円		
	財源	特定財源	114	91	78	127	報償費 36,750 円		
		一般財源	18,405	18,315	18,095	22,901	委託料 17,688,552 円		
	職員人件費 ②		6,327	5,006	5,152	5,198	使用料及び賃借料 172,316 円		
	総事業費（①+②）		24,846	23,412	23,325	28,226	扶助費 275,619 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金			
		4年度以降の事業費見込		0					

会計名			高年齢者日常生活支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯は、急病や事故等の緊急時に不安を抱えている方が多く、見守りや事故防止につながる生活支援や緊急通報システムはニーズが高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	火気取扱いや布団乾燥など、高齢者では扱いが難しい動作について、事故の無いようにフォローできる事業であるが、利用のきっかけがケアマネや民生委員、包括支援センター等職員の勧めであることが多く、他者の客観的介入が必要と思われる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	高齢者が住み慣れた地域で長く在宅で生活するため、サービスの充実を図り市が実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷市高齢者福祉計画に基づき、高齢者が住みなれた地域や家庭で生活を営めるよう、在宅生活を支援するための事業として実施している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢化の進行にともない、今後ますますニーズは高まると予測されるため、継続して事業を実施する。					

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			住宅改善費等補助事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護認定給付係		
3	1	3								
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるように住宅改善費等の一部を補助することにより、高齢者の自立支援及び介護者の負担軽減を図る。			主たる内容	○住宅改善費 要介護認定者等の住宅改善費用が介護保険上限額（20万円）を超えた場合に、超えた費用の一部を補助する。 ○介護支援ベッド貸与利用料 離床動作が困難な軽度（要支援1・2、要介護1）の要介護認定者等へ、介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。 ○住宅バリアフリー化工事費 要介護認定等を受けていない高齢者の住宅バリアフリー化工事費の一部を補助する。（上限額10万円）				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事費補助金交付要綱							
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・住宅改善費 補助人数 182人 補助金額 19,192,889円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 207人 補助金額 5,800,896円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 4人 補助金額 287,794円		・住宅改善費 補助人数 156人 補助金額 16,512,705円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 190人 補助金額 5,076,660円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 4人 補助金額 321,442円		・住宅改善費 補助人数 186人 補助金額 16,818,342円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 187人 補助金額 5,581,671円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 33人 補助金額 2,737,908円		・住宅改善費 補助人数 221人 補助金額 18,778,000円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 222人 補助金額 6,651,000円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 60人 補助金額 5,400,000円		
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。								
課題		高齢化率の上昇に伴う補助人数及び補助額の増加に対する適切な審査と予算執行を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		住宅改善費補助人数（人）			182	156	186	221	225	
活動指標		住宅バリアフリー化工事費補助人数（人）			4	4	33	60	61	
他市との比較検証		住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施しており、補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		25,404	22,005	25,308	31,109	合計 25,307,921 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 25,307,921 円			
		一般財源	25,404	22,005	25,308	31,109				
	職員人件費 ②		2,006	2,002	224	226				
	総事業費（①+②）		27,410	24,007	25,532	31,335				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			住宅改善費等補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護認定給付係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	住宅改善費等補助は介護保険の給付対象を超えた住宅改修費に対する補助であるが、高齢化率及び介護保険申請件数の上昇にも関連し、市民ニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	住宅改善費補助では、介護保険給付と市補助金をまとめて申請できるようにするなど、申請者の利便性と事務の効率化が図られている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	介護保険サービスに係わる事業のため、保険者の市が実施すべき事業である。 高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるよう総合計画で介護サービスの充実を図る上で必要な事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	自宅で安心して暮らすために必要な住環境が整えられており、介護サービスの充実に大きく貢献している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	住宅改善費等補助は、高齢化が進む中、第5期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点課題である地域包括ケアシステムの推進施策である高齢者の住まいの整備を促進するため、平成25年6月より補助対象改修費の上限額を10万円から20万円に拡充すると同時に、100%であった補助率を介護保険の給付率に合わせて自己負担も求め補助制度の適正化を図った。 令和3年度からの第8期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画においても、安心な生活環境の整備として高齢者に配慮した住まいの充実を掲げており、継続して事業を実施していく。				

会計名 一般会計			特別養護老人ホーム整備費補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護保険事業計画の施設等の整備目標に基づき、民間事業者が整備する特別養護老人ホームの建設事業費に対して補助金を交付することにより、整備を促進し、高齢者の福祉増進を図る。			主たる内容	愛知県老人福祉施設等設置費補助金交付要綱に規定されている補助額の10%を補助金として交付する。 ○対象施設 特別養護老人ホーム（定員100人） ○交付年度 令和元年度、令和2年度の2か年			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	介護保険法						
		対象者	介護サービス事業者		事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		・補助件数 1件 ・補助金額 15,750千円		・補助件数 1件 ・補助金額 15,750千円		_____	
成果		補助金を活用し、介護保険事業計画のとおり、令和3年4月に開所することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		特別養護老人ホーム定員数（人）			490	490	590	590	—
指標									
他市との比較検証		安城市：愛知県の補助額の10% 知立市：市の単独補助なし							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	15,750	15,750	0	合計 15,750,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 15,750,000 円		
		一般財源	0	15,750	15,750	0			
	職員人件費 ②		0	39	37	0			
	総事業費（①+②）		0	15,789	15,787	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			特別養護老人ホーム整備費補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	特別養護老人ホームの入所待機者の解消を図るなど介護サービスの充実を推進する上で必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	刈谷市補助金等交付規則の規定に基づき補助金を交付している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	特別養護老人ホームは、設置主体が社会福祉法人などに限られ、公益性が高い施設である。また、第7期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画で特別養護老人ホームの整備を位置づけている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	社会福祉法人の安定した経営による良質なサービスの提供を行うことに寄与できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
毎年実施している特別養護老人ホームの入所待機者数調査の結果等を基に、今後の施設整備及び補助金交付の必要性について検討する。					

会計名			地域密着型サービス施設等整備助成事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護保険企画係	
3	1	3							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護保険事業計画の施設等の整備目標に基づき、民間事業者が整備する地域密着型サービス事業所等の建設事業費に対して補助金を交付することにより、整備を促進し、高齢者の福祉増進を図る。		主たる内容	地域密着型サービス事業所等の建設事業費に対して、補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
		対象者	介護サービス事業者	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO実績 実施V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		――		事業者は既存の建物を利用したため、当初予定していた施設整備にかかる建設経費の補助制度は活用しなかったが、令和元年11月に市内初となる定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所を開所することができた。		・補助対象サービス 認知症グループホーム 小規模多機能型居宅介護 補助件数 2件 補助金額 70,560千円		――	
成果		第7期介護保険事業計画に基づき、令和3年4月に認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）と小規模多機能型居宅介護の併設型の事業所が開所された。また北部・中部・南部の3つの日常生活圏域それぞれに小規模多機能型居宅介護事業所を整備することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		認知症グループホーム・小規模多機能型居宅介護併設型事業所数（箇所）			2	2	3	3	3
成果指標		定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数（箇所）			0	1	1	1	1
他市との比較検証									
C事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	70,560	0	合計 70,560,000 円		
	財源	特定財源	0	0	70,560	0	負担金、補助及び交付金 70,560,000 円		
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	75	0			
	総事業費（①+②）		0	0	70,635	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		地域密着型サービス施設等整備助成事業費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			地域密着型サービス施設等整備助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	原則として刈谷市民のみが利用できる地域密着型サービス事業所の整備であり、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし、近くで介護サービスを受けられるよう、地域包括ケアシステムの構築の上で重要なサービス拠点の整備に対する補助制度である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱の規定に基づき補助金を交付している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	認知症対応型共同生活介護と小規模多機能居宅介護事業所はその利用が刈谷市民に限られる地域密着型サービスの事業所であり、また、第7期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画で整備を位置付けている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	整備費における補助金を交付することで、事業者の安定した経営による良質なサービスの提供を行うことに寄与できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
地域密着型サービスの利用見込みを適正に行った上で、今後の整備及び補助金交付の必要性を検討する。					

会計名 一般会計			介護施設開設準備経費等支援事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護保険事業計画の施設等の整備目標に基づき、民間事業者が整備する地域密着型サービス事業所等の開設準備経費や、既存の介護施設等の改修に合わせた介護ロボット・ICTの導入費用に対して補助金を交付することにより、安定した質の高いサービスを提供するための体制整備を支援する。				主たる内容	○地域密着型サービス事業所等の開設準備経費に対して、補助金を交付する。 ○既存の介護施設等の大規模改修に合わせて行う介護ロボット・ICTの導入費用に対して、補助金を交付する。		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
	対象者	介護サービス事業者				事業期間	～		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		・補助対象サービス 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 補助件数 1件 補助金額 13,299千円		・開設準備経費補助 認知症グループホーム 小規模多機能型居宅介護 補助件数 2件 補助金額 22,653千円 ・ロボット・ICT導入補助 介護老人保健施設 補助件数 1件 補助金額 18,138千円		_____	
成果		事業者は補助金を活用し、備品等の設備を購入し、令和3年4月に認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護の併設型の事業所を開所することができた。 また介護老人保健施設については、補助金を活用し大規模修繕に併せて介護ロボットの導入を進めることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		認知症グループホーム・小規模多機能型居宅介護併設型事業所数（箇所）			2	2	3	3	3
指標		定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数（箇所）			0	1	1	1	1
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	13,299	40,791	0	合計 40,791,000 円		
	財源	特定財源	0	13,299	40,791	0	負担金、補助及び交付金 40,791,000 円		
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	39	37	0			
	総事業費（①+②）		0	13,338	40,828	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		介護施設開設準備経費等支援事業費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護施設開設準備経費等支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者の自宅での生活を支援するとともに、認知症の高齢者の支援を行うなど介護サービスの充実を推進する上で必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱の規定に基づき補助金を交付している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	認知症対応型共同生活介護と小規模多機能型居宅介護事業所は、利用が刈谷市民に限られる地域密着型サービスの事業所であり、第7期介護保険事業計画に基づき整備を行ったものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	事業者が施設の開設時から、安定した質の高いサービスを提供するための体制整備を支援できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
各種サービスの利用見込みを適切に行った上で、今後の整備及び補助金交付の必要性を検討する。					

会計名 一般会計		新型コロナウイルス感染症対策介護サービス事業者支援事業				担当部	福祉健康部	
款	項					目	担当課	長寿課
3	1	3	担当係		介護保険企画係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	介護サービスの充実					
	目的	緊急事態宣言発令中においてサービスの提供継続要請に協力した介護サービス事業所に対して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策経費への支援を行うとともに、介護従事者の慰労を目的とする。		主たる内容	愛知県が独自の緊急事態宣言を発令した令和2年4月10日時点において、刈谷市内に事業所を有する介護サービス事業者に対して、サービス種別ごとに1事業所当たり10万円を交付する。 ○対象事業所：延べ146事業所（障害福祉サービスと重複する事業所は、介護サービス事業所へ交付する）			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
	位置づけ 根拠法令	刈谷市新型コロナウイルス感染症対策介護・障害福祉サービス事業者支援金交付要綱						
	対象者	介護サービス事業所		事業期間	令和2年度～令和2年度			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画
		_____		_____		・補助件数 72法人146事業所		_____
成果		対象となる全ての事業所に補助金を交付し、新型コロナウイルス感染症に対する介護支援事業所に対する支援を行うことができた。						
課題								
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
活動指標	補助件数（件）			—	—	146	—	—
活動指標								
他市との比較検証								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	14,600	0	合計 14,600,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 14,600,000 円	
		一般財源	0	0	14,600	0		
	職員人件費 ②		0	0	75	0		
	総事業費（①+②）		0	0	14,675	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称		
2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			新型コロナウイルス感染症対策介護サービス事業者支援事業	担当部	福祉健康部
款	項	目		担当課	長寿課
3	1	3		担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービス事業所及び介護従事者に対する支援であり、社会的需要は非常に高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	感染症対策として介護サービス事業所ごとに必要となるものが違うため、現金を支給するという手段は事業所にとって最適な手段であったと考える。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続を支援し、サービス利用者へのサービス提供の安定化を図るために必要な事業であり。市が主体となって実施すべきものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	介護サービスの提供継続を支援することで、利用者へのサービス供給の安定化を図る支援ができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後の感染症の状況を踏まえ判断することになるが、マスクや消毒液などの感染防止物品の不足・値段の高騰などを背景に行った事業であることを踏まえると、物品の不足が見込まれない現時点では同様の形での補助制度は実施しない予定。					

会計名 一般会計		介護施設新型コロナウイルス感染拡大防止				担当部	福祉健康部		
款 項 目 3 1 3		対策支援事業				担当課	長寿課		
						担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	感染症のまん延等不測の事態に備え、事業者に対する感染症対策のための支援を行うことで、介護サービスの継続的な提供体制を確保する。			主たる内容	感染症のまん延等により介護サービス事業者において必要となる物品の配布や不測の事態に備えた備蓄品を確保する。 また、介護施設等の居室における簡易陰圧装置の設置に必要な経費や実際に感染者が発生した施設の消毒に係る費用に対して、補助金を交付する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
		対象者	介護サービス事業者	事業期間	令和2年度 ~ 令和3年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		—		・感染防止対策物品の配布 消毒液、使い捨て手袋、非接触型体温計等の配布 ・消毒経費に対する補助 補助件数 5件 補助金額 1,299千円 ・簡易陰圧装置の設置経費に対する補助 補助件数 1件 補助金額 2,516千円		・感染防止対策物品の配布 ・簡易陰圧装置の設置経費に対する補助 補助件数 2件 補助金額 3,905千円 ※消毒経費に対する補助は県への直接申請に変更	
成果		感染防止対策物品の配布や消毒経費、陰圧装置の設置費補助を通じて、介護サービス事業所に対する支援を行うことができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	簡易陰圧装置設置費補助件数（件）			—	—	1	2	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	7,212	4,105	合計	7,212,218 円	
	財源	特定財源	0	0	3,815	3,905	需用費	3,397,218 円	
		一般財源	0	0	3,397	200	負担金、補助及び交付金	3,815,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	75	75			
	総事業費（①+②）		0	0	7,287	4,180			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		介護施設新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護施設新型コロナウイルス感染拡大防止 対策支援事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービス事業所に対する支援であり、社会的需要は非常に高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	簡易陰圧装置、消毒経費については県の補助制度に基づくものである。感染対策物品の配布は市単独の事業であるが、感染拡大防止に直結するものであり、その必要性は高い。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続を支援し、サービス利用者へのサービス提供の安定化を図るために必要な事業であるため、市が主体となって実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	介護サービスの提供継続を支援することで、利用者へのサービス供給の安定化を図る支援ができた。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後の感染症の状況を踏まえ判断することになる。						

会計名 一般会計		新型コロナウイルス濃厚接触者等介護サービス提供継続支援事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等に特定された方に対して、必要な介護サービスが継続して提供されることを目的とする。			主たる内容	濃厚接触者等になった人に、介護サービスを継続して提供した介護サービス事業者に対して、濃厚接触者1人当たり10万円の基本額とサービス提供日数に応じた加算額を支援金として交付する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市新型コロナウイルス濃厚接触者等介護・障害福祉サービス提供継続支援金交付要綱							
	対象者	介護サービス事業者		事業期間	令和2年度 ~ 令和3年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		—		・補助件数 6件 訪問系サービス 6件		・補助件数 20件 訪問系サービス 15件 施設系サービス 5件	
成果		介護を必要とする濃厚接触者等に対して、介護サービスが止まることなく継続して提供されることに対する支援を行うことができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	補助件数（件）			—	—	6	20	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	2,640	2,640	合計 2,640,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 2,640,000 円		
		一般財源	0	0	2,640	2,640			
	職員人件費 ②		0	0	75	75			
	総事業費（①+②）		0	0	2,715	2,715			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			新型コロナウイルス濃厚接触者等介護サー ビス提供継続支援事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービス事業所に対する支援であり、かつ介護サービス利用者に対するサービス提供継続の支援であるため、社会的需要は非常に高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の支援であり、他市や県の補助制度等を参考に補助額を設定した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続を支援し、サービス利用者へのサービス提供の安定化を図るために必要な事業であり、市が主体となって実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	介護を必要とする濃厚接触者等に対して、サービスが途切れることなく継続して提供するという目的を達成できた。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
今後の感染症の状況を踏まえ判断することになる。						

会計名 一般会計		介護サービス利用継続PCR等検査費補助				担当部	福祉健康部		
款	項	目	事業			担当課	長寿課		
3	1	3				担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び必要な介護サービスが継続して提供されることを目的とする。			主たる内容	○事業者補助 介護サービス事業所において感染者が発生した場合等に、行政検査に該当せず事業者負担により受検したPCR等検査の費用を補助する。 ・補助率 2分の1 ○個人補助 同居家族が感染者となった場合等、被保険者の利用しているサービスの利用継続や新たなサービスを受けるため受検したPCR等検査の費用を補助する。 ・補助率 10分の10			
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	障害福祉・介護サービス利用継続PCR検査補助金交付要綱						
	対象者	介護サービス事業者、介護サービス利用者	事業期間	令和2年度～令和3年度					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		—		・事業所 補助件数 6件 補助金額 48千円 ・個人 補助件数 2件 補助金額 33千円		・事業所 補助件数 270件 補助金額 5,400千円 ・個人 補助件数 15件 補助金額 600千円	
成果		新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止、サービス利用者の介護サービスの継続利用の支援及び事業所のサービス提供継続を支援することができた。							
課題									
指標名称（単位）		実績値			目標値				
成果指標	補助件数（件）	30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		—	—	8	285	—			
他市との比較検証	安城市、知立市において事業所の向けの補助制度を設けている。個人を対象とした補助制度は近隣では刈谷市のみである。								
C 事業コスト V	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	0	0	81	6,000	合計	81,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	81,000 円	
		一般財源	0	0	81	6,000			
	職員人件費 ②	0	0	75	75				
	総事業費（①+②）	0	0	156	6,075				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護サービス利用継続PCR等検査費補助 事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続・利用継続のための判断に必要な検査に対する補助制度であり、市民ニーズ、社会的需要は非常に高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	事業者向けと個人向けの補助制度があり、補助率をそれぞれ設定している。事業者向けは2分の1補助とし、事業所に負担を求めている。また個人向けについては全額補助としている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続・利用継続のための支援制度であり、行政検査の対象外となる検査を補助対象とし、感染拡大防止の観点から市が主体となって実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	介護サービス事業所の提供継続や利用者のサービス利用の継続を判断するために必要な検査に対する補助制度である。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後の感染症の状況を踏まえ判断することになる。						

会計名		高齡者交流プラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	管理係	
3	1					7			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	高齡者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齡者福祉の向上を図るとともに、他人と共用する物品や複数の人の手が触れる場所の消毒作業を拡充すること等により、施設内での感染拡大の防止を図る。	主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齡者	事業期間	平成9年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO実績 実施V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 感染症対策特別清掃の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。また、工数の増えた高齡者福祉センター内の消毒作業を業者委託し、感染症対策を講じることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		高齡者交流プラザ延べ利用者数（人）		124,826	113,822	34,120	130,500	—	
活動指標		大浴室利用者数（人）		54,131	48,587	10,241	58,000	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費①		81,176	86,052	91,229	91,791	合計	91,229,243円	
	財源	特定財源	1,936	175	0	10	需用費	299,200円	
		一般財源	79,240	85,877	91,229	91,781	役務費	74,772円	
	職員人件費②		231	539	299	452	委託料	87,680,000円	
	総事業費（①+②）		81,407	86,591	91,528	92,243	使用料及び賃借料	3,175,271円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		高齡者福祉施設事業費寄附金			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者交流プラザ管理運営事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	高齡者人口の増加に伴い、生きがいと健康づくりの拠点となる施設の必要性も高くなり、実際に利用者も多い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	管理運営について、指定管理者である社会福祉協議会に委託することにより、円滑な運営を図ることができるので効率性は高い。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	高齡者の生きがいと健康づくりの拠点となる施設であるため、市が主体となって実施する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	指定管理者により、施設の円滑な運営が図られており、施設の不具合箇所について修繕することで、環境の整備も図られているため、総合計画の目標も達成できている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
連日、多くの高齡者が来館し、大浴場やマッサージコーナー等は多くの人々が常に利用している。また、各種講座も多くの人が受講しており、市民のニーズも高いため、引き続き事業を実施していく。					

会計名			いきいきプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。	主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。 また、新型コロナウイルス感染症対策として適切な換気を行うため、空気清浄機及びサーキュレーターを設置する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則						
	対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	平成10年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 ・空気清浄機の設置 1台 ・サーキュレーターの設定 1台 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。特に、換気が難しいトレーニング室等にサーキュレーターを設置し、感染症対策を講じることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		いきいきプラザ入館者数（人）		40,207	42,132	4,774	57,500	—	
活動指標		トレーニング室利用者数（人）		17,777	18,146	1,168	25,500	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		31,936	32,238	37,563	33,459	合計	37,562,989 円	
	財源	特定財源	0	0	87	67	需用費	46,850 円	
		一般財源	31,936	32,238	37,476	33,392	役務費	21,939 円	
	職員人件費 ②		231	539	299	452	委託料	36,513,000 円	
	総事業費（①+②）		32,167	32,777	37,862	33,911	備品購入費	981,200 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		施設賠償責任保険金収入			
		4年度以降の事業費見込		0					

会計名			いきいきプラザ管理運営事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	7			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者人口の増加に伴い、生きがいと健康づくりと交流の場として必要性が高まり、利用者も多くなっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	管理運営について、指定管理により社会福祉協議会に委託し、円滑な運営が図られているため、効率性が高い。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	高齢者の生きがいと健康づくりの拠点施設であり、市が主体となって実施する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 			指定管理者により円滑に運営されている。また、施設の不具合箇所について修繕することで、環境整備も図られている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
多くの高齢者が、トレーニング室や歩行プールを利用している。					

会計名 一般会計		高齢者福祉施設等新型コロナウイルス感染症対策事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設内で感染が疑われる利用者が発生した場合に備えて、当該利用者を介助する際に必要な物品を購入し、感染拡大の防止を図る。			主たる内容	新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を追加購入する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
—		—		・手指消毒液の設置 ・施設除菌用消毒剤の設置 ・防護服の設置		—			
成果		高齢者福祉施設等において、新型コロナウイルス感染症対策を行うことができた。							
課題		感染状況の収束が見込まれないことから、引き続き感染防止対策を徹底する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		衛生用品設置施設数（箇所）			—	—	7	—	—
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	2,862	0	合計	2,862,263 円	
	財源	特定財源	0	0	318	0	需用費	2,862,263 円	
		一般財源	0	0	2,544	0			
	職員人件費 ②		0	0	597	0			
	総事業費（①+②）		0	0	3,459	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		南海トラフ地震等対策事業費補助金（県）			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齢者福祉施設等新型コロナウイルス感染症対策事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	7			担当係	管理係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	感染状況の収束が見込まれないことから、引き続き感染防止対策を徹底する必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	複数の施設に係る感染症対策物品を一括して購入することで、単価が抑えられている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	指定管理者の運営上支障が生じないよう、市が主体的に感染症対策を講じるものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	利用制限を設けながら、施設内での感染症発生に備えている。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
各施設の利用者特性に応じた感染症対策を講じるため、それぞれの管理運営事業にて実施していく。						

会計名 一般会計			地域包括支援センター整備事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	長寿課			
3	1	7					担当係	高齢福祉係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実								
	目的	地域包括支援センターを増設することにより、高齢者数、相談件数等の増加に対応するとともに、高齢者福祉の充実を図る。				主たる内容	雁が音中学校区、朝日中学校区に1箇所ずつ地域包括支援センターを設置する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
			根拠法令	介護保険法							
		対象者					事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
		――		雁が音地域包括支援センター設置のため、一ツ木福祉センター1階ロビー等を改修した。		（R1繰越分）朝日地域包括支援センター設置のため、南部福祉センター1階相談室等を改修した。		――			
成果		南部福祉センターの改修工事を行い朝日地域包括支援センターを設置することにより、南部地区の高齢者により身近な相談窓口を開設することができた。									
課題		中部地区の地域包括支援センター2か所は共に刈谷南中学校区にあり、刈谷東中学校区における地域包括支援センター開設を検討していく必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		地域包括支援センター設置数（箇所）			4	4	6	—	—		
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	3,391	12,849	0	合計	12,849,100 円			
	財源	特定財源	0	1,190	12,849	0	工事請負費	12,849,100 円			
		一般財源	0	2,201	0	0					
	職員人件費 ②		0	308	1,269	0					
	総事業費（①+②）		0	3,699	14,118	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
		2年度までの累積事業費		0		繰越金					
4年度以降の事業費見込		0									

会計名			地域包括支援センター整備事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地域包括支援センターの設置は介護保険法に定められており、増設により、より地域に密着した施設を充実させることができた。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	南部福祉センターの改修工事により、工事費等増設に係る経費を削減できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域包括支援センターの機能充実は、第7期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点施策に掲げている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	高齢者の住み慣れた地域での支援体制づくりに寄与できた。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢者人口、相談件数の増加に対応するため、南部地区の南部福祉センターの改修工事を行い、朝日地域包括支援センターを設置した。					

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	目的 福祉有償運送の必要性、対価が適切なものであるか等について協議し、福祉有償運送の適切な運営を図る。	主たる内容	協議会を開催し、福祉有償運送の適切な運営を図る。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱							
	対象者	協議会委員			事業期間	平成17年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・協議会の開催 開催日 11月20日 3月26日		・協議会の開催 開催日 11月 8日 2月 5日		・協議会の開催 開催日 11月 6日		・協議会を1回以上開催予定		
成果		運営協議会での合意に基づき道路運送法第79条の登録をすることにより、NPOによる自家用自動車を使用した有償運送が可能となり移動制約者の移送手段を確保することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		協議会開催数（回）			2	2	1	1	1	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		128	122	58	116	合計	57,600 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	57,600 円		
		一般財源	128	122	58	116				
	職員人件費 ②		386	385	1,643	1,657				
	総事業費（①+②）		514	507	1,701	1,773				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			介護保険会計繰出事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。			
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。			主たる内容					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	介護保険法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成12年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
			30年度実績			元年度実績	2年度実績	3年度計画		
			介護給付費分：939,125,000円	介護給付費分：999,531,000円		介護給付費分：1,010,025,000円	介護給付費分：1,013,993,000円			
		地域支援事業費分：80,830,000円	地域支援事業費分：130,327,000円	地域支援事業費分：167,696,000円	地域支援事業費分：135,003,000円					
		低所得者保険料軽減分：9,753,000円	低所得者保険料軽減分：40,619,000円	低所得者保険料軽減分：72,274,000円	低所得者保険料軽減分：73,912,000円					
		総務費分：233,533,000円	総務費分：231,786,000円	総務費分：247,552,000円	総務費分：247,620,000円					
		計 1,263,241,000円	計 1,402,263,000円	計 1,497,547,000円	計 1,470,528,000円					
	成果	介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。								
	課題									
O 実績	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	活動指標	繰出額（千円）			1,263,241	1,402,263	1,497,547	1,470,528	—	
	指標									
V C 事業 コスト	他市との比較検証									
	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,263,241	1,402,263	1,497,547	1,470,528	合計 1,497,547,000円			
	財源	特定財源	7,095	29,481	54,007	55,434	繰出金 1,497,547,000円			
		一般財源	1,256,146	1,372,782	1,443,540	1,415,094				
	職員人件費 ②		77	77	75	75				
	総事業費（①+②）		1,263,318	1,402,340	1,497,622	1,470,603				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0		低所得者保険料軽減負担金（国・県）				
		4年度以降の事業費見込		0						

会計名			高齡者能力活用事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがづくり						
	目的	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターが実施する、定年退職者等に対する就業機会の確保を始めとする諸活動を支援する。			主たる内容	刈谷市シルバー人材センターに、補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律						
	対象者	刈谷市シルバー人材センター			事業期間	昭和54年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付	
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齡者の能力活用及び生きがづくりを図ることができた。							
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
	活動指標	シルバー人材センター会員数（人）			480	504	521	520	—
	指標								
他市との比較検証	近隣市の会員数（年度末時点） 令和2年度 碧南市 458人、安城市 1,083人、知立市 428人、高浜市 424人 平成31年度 碧南市 458人、安城市 1,044人、知立市 444人、高浜市 405人 会員数としてはほぼ横這いの市が多い。								
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		22,714	25,098	19,075	29,501	合計 19,074,924円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 19,074,924円		
		一般財源	22,714	25,098	19,075	29,501			
	職員人件費②		309	308	299	452			
	総事業費（①+②）		23,023	25,406	19,374	29,953			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			老人いこいの場整備運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり							
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。			主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱						
		対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	昭和48年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・いこいの場開設(35か所)		・いこいの場開設(34か所)		・いこいの場開設(34か所)		・いこいの場開設(33か所)		
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		いこいの場開設日数（日）			6,876	5,404	3,029	5,674	—	
活動指標		いこいの場利用者数（人）			68,265	62,101	32,265	65,000	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		3,538	3,274	3,192	3,368	合計	3,192,149円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,192,149円		
		一般財源	3,538	3,274	3,192	3,368				
	職員人件費②		1,003	2,156	971	979				
	総事業費（①+②）		4,541	5,430	4,163	4,347				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			高齡者スポーツ等奨励事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがづくり							
	目的	高齡者スポーツ大会の出場選手を激励するとともに、高齡者スポーツの振興を図る。			主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齡者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画 根拠法令								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		富山大会：6人		和歌山大会：4人		岐阜大会：中止		岐阜大会：10人		
		成果								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		高齡者スポーツ大会出場者数（人）			6	4	-	10	-	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		60	40	0	120	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	60	40	0	120				
	職員人件費 ②		309	1,078	896	904				
	総事業費（①+②）		369	1,118	896	1,024				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			敬老金等支給事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいくり						
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。		主たる内容	○各地区等で行われる敬老会事業に対する補助 ○対象者に対する記念品及び敬老金の贈呈				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老祝金品支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱							
	対象者	※「B 事業実績」欄に記載		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・記念品（満78歳以上） 10,653人 ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 944人 満99歳（30,000円） 41人 満100歳以上（20,000円） 41人		・記念品（満79歳以上） 9,933人 ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 1,001人 満99歳（30,000円） 32人 満100歳以上（20,000円） 45人		・記念品（満80歳以上） 9,279人 ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 1,069人 満99歳（30,000円） 27人 満100歳以上（20,000円） 56人		・記念品（満80歳以上） ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）	
		成果	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。						
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	記念品対象者（人）		10,653	9,933	9,279	10,600	13,000		
活動指標	敬老金対象者（人）		1,026	1,078	1,152	1,272	1,450		
他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		24,660	24,524	24,598	27,544	合計	24,597,660 円	
	財源	特定財源	1	1	1	3	報償費	18,449,995 円	
		一般財源	24,659	24,523	24,597	27,541	需用費	283,065 円	
	職員人件費 ②		4,321	7,008	2,389	2,411	役務費	265,000 円	
	総事業費（①+②）		28,981	31,532	26,987	29,955	使用料及び賃借料	3,400 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金					
4年度以降の事業費見込		0							
交付金		5,596,200 円							

会計名		地域介護等推進事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	管理係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	○家庭介護教室の開催（年3回） ○認知症サポーター養成講座および認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成する。また、ステップアップ講座により、地域で自主的に活動できるサポーターを育成する。 ○認知症に関するパンフレットの作成 民生委員や地域包括支援センター等を通じて啓発を行う。		
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	家庭介護や認知症についての正しい知識を学ぶ機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	平成19年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績	30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画			
		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 18回開催：959人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：52人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 19回開催：841人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：38人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定	・家庭介護教室の開催（年3回、延べ3日間） ・認知症サポーター養成講座 10回開催：453人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：27人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定	・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 20回開催：700人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定			
成果		・専門家による講演、演習により、家庭介護に必要な基本的な知識、技術を身につける機会を提供できた。 ・地域包括支援センターの協力により、地道な広報活動を続けてきた結果、各種団体や民間企業など、様々な方面から受講希望が集まるようになった。また、平成24年度から小学校及び中学校でのサポーター養成講座の開催を働きかけ、子どもの中から認知症に対する理解を深める機会を設けることができた。							
課題		・コロナウイルス感染症拡大防止のため、家庭介護教室について予定どおりの講座数を開催できなかった。 ・認知症高齢者は増加しており、その家族や地域等への周知や予防啓発は重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
	活動指標	認知症サポーター養成講座受講者累計数（人）	8,815	9,656	10,109	11,000	12,000		
	活動指標	家庭介護教室参加者数（人）	115	71	37	50	70		
他市との比較検証	・他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。								
C 事業 コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		415	163	83	527	合計 83,190 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 22,000 円		
		一般財源	415	163	83	527	需用費 34,230 円		
	職員人件費 ②		2,546	2,542	2,539	2,561	役務費 1,010 円		
	総事業費（①+②）		2,961	2,705	2,622	3,088	使用料及び賃借料 25,950 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名		基幹型地域包括支援センター連携強化事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	地域包括ケアシステム構築のため、基幹型地域包括支援センター職員が行政と連携強化することで、地域ニーズに合った生活支援、介護予防施策形成につなげる。		主たる内容	基幹型地域包括支援センター職員1名が市役所長寿課で勤務し、行政との連携強化に資する業務を実施し、地域包括ケアシステム構築に取り組む。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		基幹型地域包括支援センター職員1名を、月10日ほど市役所長寿課に研修勤務させ、連携強化事業を推進した。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進した。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進する。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進する。	
成果		基幹型地域包括支援センター職員が市役所長寿課に勤務することにより、連携強化につなげることによる一定の成果がみられた。							
課題		基幹型地域包括支援センターのあるべき姿を模索し、地域包括支援センター全体の連携を強化していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	長寿課勤務職員数		1	1	1	1	4		
活動指標									
他市との比較検証	基幹型地域包括支援センターとの連携強化を図っていく動きが他市にもみられる。								
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,800	3,021	3,021	3,060	合計	3,021,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,021,000 円	
		一般財源	2,800	3,021	3,021	3,060			
	職員人件費 ②		617	1,463	1,045	1,055			
	総事業費（①+②）		3,417	4,484	4,066	4,115			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			認知症カフェ運営支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	住民が気軽に立ち寄れる認知症カフェに医療、介護、保健分野の専門職が一般の参加者として関わることにより、参加者の目線に合わせて、医学的、心理社会的側面から相談、情報交換、情報発信等が可能な場を創出する。				主たる内容	認知症カフェ運営者に対し、専門職の派遣を委託する。		
	位置づけ	関連計画	あいちオレンジタウン構想						
		根拠法令							
		対象者				事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		富士松地区にある既存のヴェル・オレンジカフェをモデル事業とし、医師、看護師等専門職のいる認知症カフェを開催した。		ヴェル・オレンジカフェ始め市内3か所にて医師、看護師等専門職のいる認知症カフェを開催した。		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、認知症カフェを中止した。 県モデル委託事業のため令和2年度で本事業は終結とした。令和3年度以降は、介護特別会計において開催に必要な消耗品費の購入を補助する。		_____	
成果		認知症カフェを安全に行うための方策を検討した。							
課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、認知症カフェを中止した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		専門職のいる認知症カフェ開催回数（回）			3	42	0	-	-
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		172	136	22	0	合計	22,000 円	
	財源	特定財源	172	136	22	0	委託料	22,000 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		231	1,232	1,045	0			
	総事業費（①+②）		403	1,368	1,067	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		あいちオレンジタウン構想モデル事業委託金			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齢者と小学生の交流促進事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	高齢者がいきいきと輝く社会（多世代交流を通じた地域活動）を実現するため、高齢者に対し、子どもを対象とした地域活動への参加を促すとともに、担い手としての活躍を推進することを目的とする。	主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流推進協議会の開催 ・地域活動の担い手の募集 ・担い手養成研修の開催 ・体験イベントの開催 ・地域の活動の実践 					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		高齢者がいきいきと輝くまちづくり（多世代交流を通じたシニアの活躍推進）モデル事業実施仕様書					
		対象者	※目的に記載		事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
						推進協議会の設置及び開催：2回 小学生・高齢者等へのニーズ調査の実施		推進協議会の開催：2回 体験イベントの開催地区の選定及び内容検討	
成果		令和2年度については、推進協議会を設置し委員に対し愛知県のモデル事業の目的や今年度計画について協議した。また、小学生・高齢者等を対象とした多世代交流推進ニーズ調査を行い、モデル事業を推進するための現状把握をすることができた。							
課題		コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各地区での説明会を開催することが難しかったため、モデル地区の選定が令和3年度に持ち越しとなった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	推進会議の実施回数（回）			—	—	2	2	2	
活動指標									
他市との比較検証	県の「高齢者がいきいきと輝くまちづくり（多世代交流を通じたシニアの活躍促進）モデル事業」を受託。受託自治体…刈谷市、蒲都市、津島市								
C 事業 コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,324	1,040	合計 1,323,589 円		
	財源	特定財源	0	0	1,324	1,040	報償費 102,400 円		
		一般財源	0	0	0	0	需用費 21,089 円		
	職員人件費 ②		0	0	1,493	1,507	委託料 1,200,100 円		
	総事業費（①+②）		0	0	2,817	2,547			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		高齢者がいきいきと輝くまちづくりモデル事業委託					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			ピアサポート活動支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	ピアサポーターが当事者目線の意見を発信することにより、認知症に接する人々がより認知症に対する理解を深めるとともに、認知症の人が暮らしやすい地域を作るきっかけとすることで当事者の地域づくり参加を促す。		主たる内容	県で育成したピアサポーターを活用し、当事者としての立場から認知症の人に対する支援を行う機関の職員（認知症初期集中支援チーム員及び介護相談員等介護事業従事者）に対する講演会、交流会等を行う。				
	位置づけ	関連計画	第7期介護保険計画						
		根拠法令	認知症施策推進大綱						
		対象者	認知症に関わる専門職	事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		—		認知症初期集中支援チーム員参加：11人 認知症カフェ主催者等：13人 県モデル事業のため令和2年度で本事業は終結とした。		—	
成果		講演会でピアサポーターが当事者目線の意見を発信することにより、認知症に接する人々がより認知症に対する理解を深めるとともに、認知症の人が暮らしやすい地域を作るためのきっかけとなった。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		認知症カフェ主催者等			—	—	13	—	—
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	16	0	合計	16,000 円	
	財源	特定財源	0	0	16	0	報償費	16,000 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	16	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		ピアサポート活動支援事業県委託金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			配食サービス事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに、その安否を確認し、もって福祉の増進を図る。			主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯で、隣接地に扶養義務者が居住せず、配食サービスの提供が必要であると判断された人に対し、週3回以内の夕食を配達し安否確認を行う。（カロリー・塩分制限等の必要の無い人を対象とした一般食） 利用者負担は、1食につき300円。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ 根拠法令	刈谷市高齢者配食サービス事業実施要綱								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成8年度 ~				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		利用者数：365人 延べ利用食数：30,411食 ・配食サービスの希望曜日及び希望業者の選択制を実施		利用者数：405人 延べ利用食数：34,303食		利用者数：438人 延べ利用食数：37,166食		利用者数：520人 延べ利用食数：38,000食		
成果		見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、事業費も年々増加しているため、事業の総合的な見直しを検討する。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		配食サービス利用者数（人） （年度末時点の登録利用者数）			365	405	438	520	540	
活動指標		延べ利用食数（食）			30,411	34,303	37,166	38,000	38,000	
他市との比較検証		県内全市で同様の事業を実施している。配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。								
C 事業コスト V		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		15,222	17,989	18,398	20,882	合計	18,397,746 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	18,397,746 円		
		一般財源	15,222	17,989	18,398	20,882				
	職員人件費 ②		2,083	2,388	1,717	1,733				
	総事業費（①+②）		17,305	20,377	20,115	22,615				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、当該高齢者の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	主たる内容	65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人に対して、月額5,000円の見舞金を支給する。見舞金は、年2回（9月、3月）に分け、口座振込の方法により支給する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱						
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和49年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・受給者数 前期：674人 後期：668人		・受給者数 前期：679人 後期：710人		・受給者数 前期：769人 後期：770人		・受給者数 前期：800人 後期：800人	
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。							
課題		高齢者数の増加に伴い、見舞金受給対象者の増加が見込まれるため、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防策を推進することが必要である。							
O 実施 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金前期受給者数（人）		674	679	769	800	800	
活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金後期受給者数（人）		668	710	770	800	800		
他市との比較検証	県内の約半数の市町村で同様の事業を実施している。 ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定するほか、要介護度や世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市町村もある。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	34,306	35,953	40,450	40,013	合計	40,450,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	40,450,000 円	
		一般財源	34,306	35,953	40,450	40,013			
	職員人件費 ②	3,241	2,233	2,912	3,842				
	総事業費（①+②）	37,547	38,186	43,362	43,855				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。	主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者でおむつを利用している人に対し、1月当たり3,000円相当（要介護4又は5で、市民税非課税世帯の人は、1月あたり6,000円相当）のおむつ費用助成利用券を交付する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱							
	対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者	事業期間	平成8年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・利用券交付者数 前期：514人 後期：478人		・利用券交付者数 前期：552人 後期：548人		・利用券交付者数 前期：657人 後期：686人		・利用券交付者数 前期：700人 後期：700人	
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減につながるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。							
C 事業 コスト 建設 事業	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券前期交付者数（人）	514	552	657	700	700		
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券後期交付者数（人）	478	548	686	700	700		
他市との比較検証	県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は1月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	14,564	15,999	15,628	24,007	合計	15,627,817 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円	
		一般財源	14,564	15,999	15,628	24,007	需用費	568,150 円	
	職員人件費 ②	3,781	2,542	2,315	1,582	扶助費	15,023,667 円		
	総事業費（①+②）	18,345	18,541	17,943	25,589				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			高齢者タクシー助成事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	移動の際に電車・バス等を利用することが困難な高齢者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより高齢者の外出支援及び閉じこもりを予防し、また、通常の自家用車を利用することが困難な高齢者に対し、特殊車両タクシー料金の一部を助成することにより、医療機関への通院等を支援し、もって福祉の増進を図る。				主たる内容	【高齢者タクシー】要支援2以上で、市民税非課税世帯の65歳以上の高齢者に対し、タクシー料金助成利用券（定額、最大780円）を一月あたり3枚交付する。			
					【介護タクシー】要介護1以上で、特殊車両の必要な65歳以上の高齢者に対し、車椅子昇降機付き車両や寝台付車両のタクシー料金助成利用券（定額、最大4,270円）を一月あたり3枚交付する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱							
		対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成14年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：172人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：287人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：189人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：333人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：198人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：309人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：237人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：430人				
成果		タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い交付人数の増加を見込んだが、高齢化率に比例して交付人数は増えていないため、高齢者の問題として移動が困難な事があげられる中、より一層の周知に努め、助成に繋がるようにする必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		高齢者タクシー料金助成利用券交付人数（人）			172	189	198	237	237	
活動指標		介護タクシー料金助成利用券交付人数（人）			287	333	309	430	430	
他市との比較検証		県内約半数の市で同様の事業を実施している。1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		13,394	13,809	12,843	19,422	合計	12,842,970円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	720,940円		
		一般財源	13,394	13,809	12,843	19,422	扶助費	12,122,030円		
	職員人件費②		3,395	2,388	1,568	1,582				
	総事業費（①+②）		16,789	16,197	14,411	21,004				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費			0							
4年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			シルバーハウジング支援事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。	主たる内容	老人デイサービスセンターひまわりに生活援助員を配置し、シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、定期的な訪問及び電話による安否確認を行うとともに、緊急通報システムにより連絡を受けた場合、すぐに駆け付けて適切な対応をする。なお、夜間及び休日は緊急通報受報業者により対応する。 生活援助員派遣手数料として、月額1,000円。 。（生活保護法による被保護者世帯及び入居者の市民税所得割が非課税の世帯に属する場合を除く。）						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱							
		対象者	シルバーハウジングの入居者	事業期間	平成10年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		部屋数：54戸 平成31年1月に1戸増設		部屋数：54戸		部屋数：54戸		部屋数：54戸		
成果		シルバーハウジングに居住する高齢者に対して生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができた。								
課題		シルバーハウジングの供給戸数を増やすことが困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		シルバーハウジング部屋数（戸）			54	54	54	54	54	
指標										
他市との比較検証		県営・市営住宅のシルバーハウジングに入居している世帯のほか、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯に生活援助員を派遣している市もある。 利用者負担は無料から月4,900円まで様々である。								
C 事業コスト		単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①	10,765	10,598	12,837	16,136	合計	12,836,761円			
	財源	特定財源	72	72	66	60	委託料	12,836,761円		
		一般財源	10,693	10,526	12,771	16,076				
	職員人件費②	1,543	924	821	829					
	総事業費（①+②）	12,308	11,522	13,658	16,965					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		シルバーハウジング生活援助員派遣手数料						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			生きがい活動支援通所事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	在宅の高齢者に対し、通所による各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上を図る。		主たる内容	おおむね65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて、生活支援通所サービスを提供する。 ○あつまりん ボランティアを活用し、通所型の介護予防サービスを行う。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 刈谷市生きがい活動支援通所事業実施要領							
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成9年度 ~				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		実施延日数：157日 利用延人数：1,267人		実施延日数：138日 利用延人数：908人		実施延日数：115日 利用延人数：686人		高齢者福祉センター：月・水・金曜日開催 野田市民館：第2・第4火曜日開催（4～7月） 南部生涯学習センター：第2・第4火曜日開催（7月以降）	
		成果	通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。						
課題		高齢者の閉じこもりを予防し解消するためには、社会参加の機会を提供することが重要であるため、より一層の周知発が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		生きがい活動支援通所事業実施延日数（日）		157	138	115	168	—	
活動指標		生きがい活動支援通所事業利用延人数（人）		1,267	908	686	1,500	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,393	4,297	4,454	5,746	合計	4,454,070 円	
	財源	特定財源	531	450	343	996	委託料	4,454,070 円	
		一般財源	3,862	3,847	4,111	4,750			
	職員人件費 ②		540	385	1,643	1,657			
	総事業費（①+②）		4,933	4,682	6,097	7,403			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生活支援ハウス運営委託事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	居宅において生活することに不安がある高齢者に対し、一時的な住居を提供し、併せて必要な介護サービスの利用調整をすることにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。			主たる内容	市内に居住する60歳以上の高齢者に対し、住宅改修時、家族の長期入院・長期出張中又は病院・老人保健施設などから退院・退所後自宅での生活に慣れるまでの間などに、6か月以内を原則として住居を提供する。施設には生活援助員が24時間常駐し、生活に関する相談や緊急時の対応に当たる。 利用料（利用者の収入によって決定）の他、利用に伴う光熱水費や入所保証金が必要となる。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市生活支援ハウス運営事業実施要綱							
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成19年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		利用人数：6人 延べ日数：469日		利用人数：4人 延べ日数：539日		利用人数：1人 延べ日数：168日		事業の性質上、計画・目標値は未設定。		
成果		生活に不安のある高齢者に対して住居を提供することで、高齢者の不安の解消及び必要な支援等を実施することができた。								
課題		高齢者を取り巻く環境は日々変化しており、家族の援助を受けることが困難な高齢者は増加しているため、一時的な住居として利用できる生活支援ハウスの周知を図る必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		生活支援ハウス利用人数（人）			6	4	1	—	—	
指標										
他市との比較検証		県内で、春日井市、碧南市、豊田市、西尾市、新城市、田原市等が同様な事業を実施。多くが社会福祉法人に運営を委託しており、定員は7名から20名である。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,780	8,780	8,780	8,780	合計	8,780,000 円		
	財源	特定財源	46	366	93	10	委託料	8,780,000 円		
		一般財源	8,734	8,414	8,687	8,770				
	職員人件費 ②		1,234	924	597	603				
	総事業費（①+②）		10,014	9,704	9,377	9,383				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0		生活支援ハウス利用負担金				
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づいて、高齢者の福祉の増進を図る。			主たる内容	刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として最大月額7,500円を支給する。 養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日常生活品の購入などに充てる。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱						
			対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成18年度～		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		受給者数：7人		受給者数：7人		受給者数：7人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。		
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日常生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。								
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）			7	7	7	—	—		
指標										
他市との比較検証	養護老人ホームを持つ近隣4市は皆補給金を7,500円/月としている。									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①		548	630	578	930	合計	577,500円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	577,500円		
		一般財源	548	630	578	930				
	職員人件費②		2,700	1,848	1,045	1,055				
	総事業費（①+②）		3,248	2,478	1,623	1,985				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名		在日外国人特別給付事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす人に対し、特別給付金を支給し福祉の増進を図る。		主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす人に対し、一月あたり1万円を支給する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令					刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱		
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成6年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		受給者数：0人		受給者数：0人		受給者数：1人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		市民だより等で事業の周知を行った。							
課題		大正15年4月1日以前に出生した外国人で、1年以上刈谷市に住んでいる方が対象ということで、制度はあるものの今後受給者が出るか未定。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	在日外国人特別給付金受給者数（人）			0	0	1	-	-	
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	90	120	合計	90,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	90,000 円	
		一般財源	0	0	90	120			
	職員人件費 ②		231	23	299	301			
	総事業費（①+②）		231	23	389	421			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者緊急一時保護居室確保事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齡福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実							
	目的	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッドをあらかじめ確保することで、高齡者虐待等における被虐待者の緊急一時保護に対応する。			主たる内容	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッド2床を365日確保する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	高齡者虐待の防止、高齡者の養護者に対する支援に関する法律 老人福祉法							
		対象者				事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 11件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 8件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 8件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行う。		
成果		虐待等高齡者の緊急一時保護に迅速に対応できた。								
課題		緊急一時保護の居室の場所の確保を今後どのようにしていくか、検証する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		緊急一時保護居室確保数（床）			2	2	2	2	2	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,266	4,488	4,417	4,751	合計 4,417,380 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料 4,417,380 円			
		一般財源	4,266	4,488	4,417	4,751				
	職員人件費 ②		617	616	821	829				
	総事業費（①+②）		4,883	5,104	5,238	5,580				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			はいかい高齢者個人賠償責任保険事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	認知症等によるはいかいにより、鉄道事故等を起こす可能性のある高齢者を対象に、市がはいかい高齢者個人賠償責任保険に加入することにより、本人及び家族の損害賠償の負担軽減を図る。			主たる内容	行方不明高齢者等SOSネットワークに登録した人のうち、保険加入希望者を対象に、市が一括して保険加入する。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	刈谷市行方不明高齢者等SOSネットワーク事業実施要綱						
			対象者	※主たる内容に記載			事業期間	令和元年度 ~		
			実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
				はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 59人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 119人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 160人		
成果		認知症等によるはいかいにより鉄道事故等を起こす恐れのある高齢者を対象に、市でははいかい高齢者個人賠償責任保険に一括で加入することにより、本人及びその家族の損害賠償負担軽減を図ることができた。								
課題		市内には日常的にははいかいの恐れのある高齢者がいるため、行方不明高齢者等SOSネットワークを含めさらなる加入促進を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数（人）			—	59	119	160	200	
活動指標										
他市との比較検証		平成30年度に大府市、阿久比町で事業を開始し、平成31年度以降本市を含め事業が広まりつつある。								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	177	177	239	合計		177,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費		177,000 円	
		一般財源	0	177	177	239				
	職員人件費 ②		0	616	597	603				
	総事業費（①+②）		0	793	774	842				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			老人ホーム措置事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	原則として65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活することが困難な人が、自立した日常生活を営むために適切な支援が総合的に受けられるよう、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努める。	主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、措置に係る費用を支給する。 ※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：26人 他市：4人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：25人 他市：5人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：22人 他市：8人 (年度末時点)		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。	
成果		居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。							
課題		定員50名の施設であるが、半数が空き室である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		養護老人ホーム被措置者数（人）			30	30	30	—	—
指標									
他市との比較検証		養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、半田市他）がある。							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		69,191	77,183	79,837	98,107	合計	79,837,293 円	
	財源	特定財源	61,675	65,538	63,786	83,693	報償費	30,000 円	
		一般財源	7,516	11,645	16,051	14,414	扶助費	79,807,293 円	
	職員人件費 ②		2,623	2,619	3,061	3,089			
	総事業費（①+②）		71,814	79,802	82,898	101,196			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		老人ホーム扶養義務者負担金 老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム入所者措置収入					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護認定給付係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					主たる内容	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の人で、前年収入や預貯金等が一定額以下などの要件を満たす人へ、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の1/2を助成する。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等へ、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の1/2を補助する。
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成12年度～			
		実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		①助成人数	8人	①助成人数	14人	①助成人数	15人	①助成人数	20人
助成額		291,819円	助成額	424,412円	助成額	617,885円	助成額	990,000円	
②補助法人数		3法人	②補助法人数	3法人	②補助法人数	3法人	②補助法人数	3法人	
補助額		921,000円	補助額	865,000円	補助額	591,000円	補助額	1,630,000円	
成果		生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。							
課題		市民及び法人へ制度の周知を図ること。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）		8	14	15	20	—	
活動指標	②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）		921,000	865,000	591,000	1,630,000	—		
他市との比較検証	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。								
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,213	1,289	1,209	2,645	合計 1,208,885 円		
	財源	特定財源	690	648	443	1,239	負担金、補助及び 交付金 591,000 円		
		一般財源	523	641	766	1,406	扶助費 617,885 円		
	職員人件費 ②		231	231	224	226			
	総事業費（①+②）		1,444	1,520	1,433	2,871			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減 事業費補助金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ケアプラン指導研修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護認定給付係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。			主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	介護保険法						
		対象者	市内介護支援専門員			事業期間	平成18年度～		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 (2回とも中止)		ケアプラン指導研修会 2回	
成果		感染症予防対策で研修会を中止しており、行われていない。							
課題		介護支援専門員のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。参加ができない場合でも、研修資料の周知を行う。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		開催数（回）			2	2	0	2	—
成果指標		延参加人数（人）			88	89	0	60	—
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		12	6	0	29	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	12	6	0	29			
	職員人件費 ②		386	77	75	75			
	総事業費（①+②）		398	83	75	104			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			主任介護支援専門員研修費補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護保険企画係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	省令の一部改正により居宅介護支援事業所の管理者は、主任介護支援専門員であることが条件となったことから、主任介護支援専門員の資格取得のために必要な研修に係る受講費用を補助することで、介護保険サービスの根幹の役割をなす居宅介護支援事業所の財政的支援と人材育成の取り組みの促進を目的とする。			主たる内容	主任介護支援専門員の資格を取得するために必要な研修に係る費用の2分の1を補助する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市主任介護支援専門員研修費補助金交付要綱							
		対象者	介護サービス事業者	事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
				補助件数	7件	補助件数	0件	令和3年度からは介護人材確保・育成支援事業に統合		
		補助金額	287,000円							
成果		第8期介護保険事業計画の策定の中で、補助制度の継続と補助対象の拡大を検討し、予算化することができた。新たに更新研修と介護予防支援事業所を対象とし、介護保険サービスの根幹の役割をなす介護支援専門員の財政的支援と人材育成の取組の支援の強化を図ることができた。								
課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、研修日程の変更等があり補助金の活用につながらなかった。また近年、市内における介護支援事業所及び介護支援専門員の数が増加傾向にあるため、今後の介護サービスの需要の見込みを踏まえ、人材の確保を図る必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		主任介護支援専門員資格取得事業所			-	22	25	-	-	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	189	0	0	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	0	189	0	0				
	職員人件費 ②		0	39	0	0				
	総事業費（①+②）		0	228	0	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			介護職員宿舎施設整備費補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護保険企画係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護職員が働きやすい環境を整備することで、介護人材の確保につなげることを目的とする。			主たる内容	介護施設等の事業者が介護職員用の宿舎を整備する費用について補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱							
		対象者	介護サービス事業者		事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		—		—		補助対象サービス ・認知症対応型共同生活介護 ・小規模多機能型居宅介護 補助件数 1件 補助金額 2,933,000円		—		
成果		市内介護サービス事業所の従業員の宿舎を整備することで、介護職員の処遇改善を図るとともに人材の確保に寄与できた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		補助金活用事業所数（事業所）			—	—	1	—	—	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	2,933	0	合計 2,933,000 円			
	財源	特定財源	0	0	2,933	0	負担金、補助及び交付金 2,933,000 円			
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		0	0	75	0				
	総事業費（①+②）		0	0	3,008	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0		介護職員宿舎施設整備助成事業費補助金（県）				
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			介護施設消防設備整備費補助事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護保険企画係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護施設における防災対策を向上させ、自力避難が困難な施設利用者の安全性を確保する。		主たる内容	スプリンクラー設備の整備及び消防機関へ通報する火災通報装置を整備する事業所に対して、整備費に係る補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金交付要綱						
		対象者	介護サービス事業者	事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		_____		補助対象サービス ・地域密着型通所介護 補助件数 1件 補助金額 3,727,000円		_____	
成果		スプリンクラー設備等の整備を促進し、利用者の安全性の向上を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		補助金活用事業所数			0	0	1	0	0
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,727	0	合計 3,727,000円		
	財源	特定財源	0	0	3,727	0	負担金、補助及び交付金 3,727,000円		
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	75	0			
	総事業費（①+②）		0	0	3,802	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（国）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護施設防災設備整備費補助事業				担当部	福祉健康部				
款	項	目					担当課	長寿課				
3	1	3					担当係	介護保険企画係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全									
		基本施策	高齢者福祉									
		施策の内容	介護サービスの充実									
	目的	介護施設の防災体制の強化を図り、利用者の安心・安全を確保する。			主たる内容	非常用自家発電設備を整備する事業所に対して、整備費に係る補助金を交付する。						
	位置づけ	関連計画										
		根拠法令	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金及び地域介護・福祉空間整備推進交付金交付要綱									
		対象者	介護サービス事業所		事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度						
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	B 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画				
		_____		_____		事業所都合により補助金辞退		_____				
成果												
課題		工事の発注の関係により年度内工事が不可能ということで補助金の活用がされなかった。										
指標名称（単位）				実績値			目標値					
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度				
活動指標		補助金活用事業所数（事業所）			-	-	0	-	-			
活動指標												
他市との比較検証												
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	0	0	合計 0円					
	財源	特定財源	0	0	0	0						
		一般財源	0	0	0	0						
	職員人件費 ②		0	0	0	0						
	総事業費（①+②）		0	0	0	0						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称						
		2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0										

会計名			養護老人ホーム管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	6							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者が入所するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。				主たる内容	施設の管理運営		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市ふれあいの里条例						
		対象者	※目的に記載			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・物品の設置及び更新		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託	
成果		入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			28	27	26	—	—
指標									
他市との比較検証		老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		80,684	86,099	95,224	97,433	合計	95,224,000 円	
	財源	特定財源	5,009	5,471	6,045	7,122	委託料	95,224,000 円	
		一般財源	75,675	80,628	89,179	90,311			
	職員人件費 ②		231	539	299	452			
	総事業費（①+②）		80,915	86,638	95,523	97,885			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 在宅老人短期保護手数料 老人ホーム入所者措置収入			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			養護老人ホーム改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	6					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	目的 施設の不具合箇所を改修することにより、 利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容		主たる内容 ・室内トイレ手すり設置工事 ・食堂パーテーション設置工事			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者				事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
						【工事】 室内トイレ手すり設置工事 食堂パーテーション設置工事		【修繕】 居室トイレの便座取替修繕 【工事】 居室洗面所の給湯設備設置等 工事 網戸設置工事		
成果		施設、設備の不具合箇所を改修することにより、容赦が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度 （決算）	元年度 （決算）	2年度 （決算）	3年度 （予算）	2年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,737	7,300	合計	1,736,900 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,736,900 円		
		一般財源	0	0	1,737	7,300				
	職員人件費 ②		0	0	149	151				
	総事業費（①+②）		0	0	1,886	7,451				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名		ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	管理係	
3	1					7			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営及び各種講座の開催				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則							
	対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	平成13年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 	
		成果	利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。						
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）		49,522	43,444	18,509	55,000	—		
活動指標	うち浴室利用者数（人）		23,427	20,936	10,736	26,000	—		
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。								
C 事 業 コ ス ト 建 設 事 業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		14,368	14,656	15,851	19,174	合計	15,850,703 円	
	財源	特定財源	506	608	549	703	需用費	3,114,778 円	
		一般財源	13,862	14,048	15,302	18,471	役務費	24,000 円	
	職員人件費 ②		231	539	299	452	委託料	12,294,983 円	
	総事業費（①+②）		14,599	15,195	16,150	19,626	使用料及び賃借料	416,942 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市シルバー人材センターに委託する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	昭和62年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 施設の修繕等 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 		
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えつつある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標	高齢者市民講座参加者延人数（人）		4,306	4,183	1,701	4,800	—			
活動指標	生きがいセンター延べ利用者数（人）		18,581	18,126	8,003	21,000	—			
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		18,502	18,620	18,147	21,606	合計	18,146,562 円		
	財源	特定財源	0	0	111	10	役務費	13,081 円		
		一般財源	18,502	18,620	18,036	21,596	委託料	15,902,661 円		
	職員人件費 ②		231	539	299	452	使用料及び賃借料	1,980,000 円		
	総事業費（①+②）		18,733	19,159	18,446	22,058	備品購入費	250,820 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 高齢者福祉施設事業費寄附金				
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターひまわり管理運				担当部	福祉健康部		
款 項 目		営事業				担当課	長寿課		
3 1 7						担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じて自立した在宅生活を営 むことができるよう支援する。			主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市 社会福祉協議会に委託する。			
	位置づけ	関連計画				刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画			
		根拠法令			刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則				
		対象者	介護保険法の規定に準じる		事業期間	平成9年度 ~			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・歩行器の設置 ・エプロン等の更新		・送迎車用タイヤの更新設置 ・食器類の更新		洗濯機の更新		_____	
成果		物品の設置及び更新、不具合施設の修繕を実施することにより、安全で快適な環境を提供し、もって利用者の利便性向上及び高齢者福祉の増進を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり実施日数（日）		292	285	293	293	—	
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり利用者数（人）		6,544	6,720	6,987	6,800	—	
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度 事業費内訳	
	事業費 ①		218	353	93	17,644	合計	92,510 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	備品購入費	92,510 円	
		一般財源	218	353	93	17,644			
	職員人件費 ②		0	77	299	452			
	総事業費（①+②）		218	430	392	18,096			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ぬくもりプラザ改修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浴室ろ過装置修繕（電動五方弁等取替） ・消火栓ホース取替修繕 ・空調機（ファンコイルユニット）取替工事 			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者				事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> ・空調機取替工事 ・浴場ろ過装置修繕 ・消火栓ホース取替修繕 		無線チャイム設置工事		浴室改修に係る設計委託	
成果		施設、設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	1,341	100	2,400	合計	99,660 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	99,660 円	
		一般財源	0	1,341	100	2,400			
	職員人件費 ②		0	0	149	151			
	総事業費（①+②）		0	1,341	249	2,551			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生きがいセンター改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	7					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	目的 施設の不具合箇所を改修することにより、 利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	主たる内容 ・駐車場改修工事			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者					事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
—		—		駐車場改修工事		駐車場出入口改修工事				
成果		施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度 （決算）	元年度 （決算）	2年度 （決算）	3年度 （予算）	2年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	600	900	合計		599,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費		599,500 円	
		一般財源	0	0	600	900				
	職員人件費 ②		0	0	149	151				
	総事業費（①+②）		0	0	749	1,051				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			高齡者交流プラザ改修事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、改定期に利用できる環境を維持する。		主たる内容	【修繕】 ・真空式温水器部品取替修繕 ・塩素ポンプ等取替修繕修繕 ・水槽電極棒取替修繕 ・入り口看板等修繕 ・浴槽目地シーリング修繕 【工事】 ・空調設備取替工事 ・監視カメラ設置工事				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齡者	事業期間	平成28年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		【修繕】 東西吹抜け硝子フィルム張替え 他 【工事】 喫煙室改修工事		【修繕】 水質コントローラー修繕 冷温水一次ポンプ修繕 天井扇取替修繕 排水ポンプ取替修繕 【工事】 東側駐車場改修工事 事務室エアコン設置工事		【修繕】 真空式温水器部品取替修繕他 【工事】 空調設備取替工事 監視カメラ設置工事 自転車置場補修工事		【修繕】 天井扇取替修繕 自動制御器等取替修繕 【工事】 空調設備改修工事 エレベーター改修工事	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
成果指標	修繕等箇所数（か所）		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標	修繕等進捗率（%）		9	4	6	6	—		
他市との比較検証									
C事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		33,621	8,845	9,572	175,380	合計	9,572,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	86,000	需用費	2,277,000 円	
		一般財源	33,621	8,845	9,572	89,380	工事請負費	7,295,200 円	
	職員人件費 ②		309	308	149	151			
	総事業費（①+②）		33,930	9,153	9,721	175,531			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			いきいきプラザ改修事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	目的 施設の不具合箇所を改修することにより、 利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。	主たる内容	主たる内容 ・プール循環水及び温水配管修繕 ・監視カメラ及びレコーダー設置工事 ・火災報知器取替修繕					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則						
	対象者	施設利用者	事業期間	平成28年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO実績 実施V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・天窓改修工事 ・照明器具取替工事 ・温水ヒーター更新工事 ・外壁改修工事 ・空調設備改修工事		—		・プール循環水及び温水配管修繕 ・監視カメラ及びレコーダー設置工事 ・火災報知器取替修繕		—	
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		修繕等箇所数（か所）		5	—	3	—	—	
成果指標		修繕等進捗率（%）		100	—	100	—	—	
他市との比較検証									
C事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費①		78,310	0	2,577	0	合計	2,576,750円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,799,600円	
		一般財源	78,310	0	2,577	0	工事請負費	777,150円	
	職員人件費②		309	0	149	0			
	総事業費（①+②）		78,619	0	2,726	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							